

第26回さいたま市立病院経営評価委員会議事録

日時	令和4年10月27日(木) 10時00分～11時00分
場所	さいたま市立病院 アッセンブリーホール
出席者	一般社団法人浦和医師会顧問(前浦和医師会会長) 登坂委員 九州大学名誉教授 尾形委員 公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会東京都支部 青地委員 さいたま市自治会連合会副会長 大熊委員 平塚市病院事業管理者 石原委員 川口市病院事業管理者 大塚委員(Web)
事務局	保健福祉局 細沼保健福祉局長 市立病院 堀之内院長、小山副院長、増田副院長 市立病院病院経営部 堀越部長 (病院総務課)高橋課長、坂口課長補佐兼総務係長、荻原職員係長 (病院施設管理課)三上課長、池田管理・防災係長、今井施設係長、庄田主事 (病院財務課)富田課長、青野財務企画係長、平林調達係長、石橋主査、宮田主事 (医事課)増田課長、栗原課長補佐兼医事企画係長、吉田医事管理係長 (情報管理室)鈴木参事兼室長、福田室長補佐 (患者支援センター)日向参事兼副所長、竹村主幹 市立病院診療部 (薬剤科)玉川科長 (中央放射線科)双木副技師長 (中央検査科)長沢技師長 市立病院看護部 安西看護部長
次第	1 開 会 2 議 事 (1)第2次中期経営計画の達成状況に対する評価について 3 その他 4 閉 会
配付資料	・第26回さいたま市立病院経営評価委員会次第 ・さいたま市立病院経営評価委員会委員名簿

	<ul style="list-style-type: none"> ・第26回さいたま市立病院経営評価委員会 配席図 ・さいたま市立病院経営評価委員会設置要綱 ・A3判 項目評価一覧 ・さいたま市立病院中期経営計画の達成状況について 【令和3年度評価(案)】
<p>1 開会 富田病院財務課長</p>	<p>ただ今から、「第26回さいたま市立病院経営評価委員会」を始めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様には、ご多忙の折にもかかわらず委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の進行を務めさせていただきます、病院財務課長の富田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず始めに、お手元の資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・配席図 ・A3版 項目評価一覧 ・さいたま市立病院中期経営計画の達成状況に対する評価について 【令和3年度評価(案)】 <p>以上、5点となります。</p> <p>お手元に資料のない方は、いらっしゃいますでしょうか。</p> <p>(お持ちでない方に、事務局から予備の資料を配布。)</p> <p>本日の会議は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ハイブリット会議とさせていただきます。</p> <p>ご発言の際には、画面下にありますマイクの部分をクリックしていただいでご発言いただきますようお願いいたします。</p> <p>これから議事に入りますが、その前に委員の皆様にご了解いただきたいことがございます。「さいたま市立病院経営評価委員会設置要綱」第7条に基づきまして、会議は原則公開となっております。公開となりますと、本日の会議録、会議資料等につきましては、各区役所の情報公開コーナーや市ホームページ等で市民の閲覧に供されることとなります。</p> <p>なお、委員の皆様の過半数の同意があった場合は、会議録・会議資</p>

<p>委員一同</p>	<p>料につきましても非公開とすることもできますが、本日の会議は、公開と いうことでよろしいでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>それでは本日の会議は公開とさせていただきます。 なお、本日は傍聴者はありません。 それでは、議事に入らせいただきますので、登坂委員長、進行をよろ しくお願いいたします。</p>
<p>2. 議事 登坂委員長</p> <p>富田病院財務課長</p>	<p>それでは、次第に沿って議事を進めさせていただきます。 議事(1)「第2次中期経営計画の達成状況に対する評価について」 です。 まず、前回の委員会にて委員の皆様からいただいた「I 項目評価」 のご意見につきまして、事務局の方で資料にまとめたとのことなので、説明をお願いします。</p> <p>それでは、A3判の「評価項目一覧」をご覧ください。 右から2列目「外部評価」の欄に前回の委員会におきまして頂戴いた しました委員の皆様の評価を大項目毎に記載しております。委員会では、病院評価を修正するご意見はございませんでしたので、1列左側の 「病院評価」とそれぞれ同じ評価となっております。</p> <p>続きまして、A4版横の冊子「さいたま市立病院中期経営計画の達成 状況について【令和3年度評価(案)】」の50ページをご覧ください。 こちらは、目指すべき方向性「(1)地域の基幹病院としての地域医療 における中核的な役割」のうち前回の委員会にて頂戴したご意見を大 項目毎に取りまとめたものでございます。 各ご意見につきましては、お時間の兼ね合いもございませんので、報告 は割愛させていただきます。</p> <p>続きまして、51ページをご覧ください。 こちらは、目指すべき方向性「(2)健全な経営基盤の確立」に関する ご意見を大項目毎に取りまとめたものでございます。</p>

	<p>こちらも同様に各ご意見につきましては、お時間の兼ね合いもごさいますので、報告は割愛させていただきます。</p>
登坂委員長	<p>前回の委員会に関する報告につきましては、以上となります。</p>
登坂委員長	<p>それでは、事務局からの説明につきまして、何かご質問や、ご意見等がありましたらお願いいたします</p>
尾形委員	<p>こちらについては特に意見はありません。</p>
青地委員	<p>意見はありません。</p>
石原委員	<p>一日平均外来患者数が目標925人のところ1050.6人と目標を大きく上回っている。昨年度は924.2人であった。当院としては、今後も外来患者を増やしていくという考えなのか。</p>
院長	<p>外来患者が増えたことの原因としては、新病院となり外来機能の拡充を行ったこと、新型コロナウイルス感染症の職員PCR検査を外来初診として扱ったこと等によるものです。</p> <p>第3次中期経営計画においては、今よりも少し高い目標としているので、目標達成に向け今後も取り組んでいきたいと考えます。</p>
尾形委員	<p>外来患者数が増えているということでお聞きしたいのですが、現在国において外来機能報告が本年からスタートし、外来診療データの分析が進んでいるところです。</p> <p>その中で、診療報酬が800点とれる紹介受診重点医療機関の要件は満たすのでしょうか。</p>
院長	<p>外来機能の診療報酬については不勉強であるところです。紹介重点医療機関の要件等を今後研究してまいります。</p>
大塚委員	<p>経常収支比率について、100を目指さずに86.6を目標としたのは何故か。</p>
富田病院財務課長	<p>目標値86.6%については、当院は令和元年度に新病院を建設しまして、その際に整備した医療機器の整備等に67億円投資した関係で</p>

<p>登坂委員長</p>	<p>当面5年間は減価償却が費用として計上されている状況となります。その関係で、経常収支比率100越えが難しい状況です。</p> <p>このような状況のため、目標値を86.6としたところですが、コロナの補助金が大きく入ったので、結果として100越えとなったものです。</p> <p>大熊委員、ご意見ありますか。</p>
<p>大熊委員</p>	<p>特にありません。</p>
<p>登坂委員</p>	<p>大変貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>委員の皆様方からいただきましたご意見につきましては、事務局の方で追記などしていただければと思います。</p> <p>続きまして、「Ⅱ 収支計画・主要経営指標の達成状況」について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>それでは、「収支計画・主要経営指標の達成状況」について、ご説明いたします。</p> <p>資料52ページをご覧ください。</p> <p>「収支計画の達成状況」でございます。左側の表が「収益的収支」、右側の表が「資本的収支」となっております。</p> <p>始めに、令和3年度実績値について、収益的収支からご説明いたします。</p> <p>表の1番上「1. 医業収益」は、180億7,000万円となります。</p> <p>その内訳ですが、</p> <p>『(1)入院収入』が、130億9,100万円、</p> <p>『(2)外来収入』が、41億9,000万円、</p> <p>『(3)その他』が、一般会計繰入金の3億6,600万円含めた合計で7億8,900万円となっております。</p> <p>次に、「2. 医業外収益」は、76億2,800万円となります。</p> <p>その内訳ですが、一般会計からの繰入金である</p> <p>『(1)他会計負担金・補助金』が、24億2,100万円、</p> <p>『(2)国(県)補助金』が、新型コロナウイルス感染症関連の補助金41億5,700万円を含めた合計で41億9,200万円、などとなっております。</p>

これら、「医業収益」と「医業外収益」を加えた、「経常収益」は、256億9,800万円となっております。

続きまして、支出の「1. 医業費用」は230億2,900万円となります。その内訳は、

『(1)職員給与費』が、112億2,100万円、

『(2)材料費』が、47億7,900万円、

『(3)経費』が、40億8,000万円、

『(4)減価償却費』が、29億300万円 などとなっております。

次に、「2. 医業外費用」は、13億6,600万円となります。

これら、医業費用と医業外費用を加えた経常費用は、243億9,500万円となっており、その下となりますが、経常収益から経常費用を差し引いた「経常損益」は、13億300万円の黒字となっております。

次に、下から2行目となりますが、「純損益」は同額の13億300万円の黒字となっております。令和3年度の目標値が33億2,400万円の赤字でございましたので、大幅に収支状況が改善したものとなっております。

また、累積欠損金は6億2,500万円となっております。

続きまして、右側の表、「2資本的収支」をご覧ください。

令和3年度の実績値ですが、収入につきましては、

「1. 企業債」が、4億5,200万円、

「2. 他会計出資金」が、9億5,600万円、

「3. 国(県)補助金」が、3,900万円、などとなっております、

収入の合計は、14億5,000万円となっております。

次に支出ですが、

「1. 建設改良費」が、11億6,700万円、

「2. 企業債償還金」が、18億7,700万円、

支出の合計は、30億4,400万円となっております。

また、表の1番下、企業債残高は318億6,900万円となっております。

続きまして、資料53ページ「主要経営指標の達成状況」の「医療関係

指標」につきましてご説明いたします。

まず、「手術件数」ですが、令和3年度の実績値は、5,122件。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、一部病棟の閉鎖や予定手術枠の減少により、達成率は85.4%で、目標値を下回りました。

次に、「救急搬送件数」は、6,671件。

新型コロナウイルス感染症患者受入れのために一部、病棟を閉鎖した影響から、達成率は95.3%となり、目標値を下回りました。

次に、「平均在院日数」は、11.3日。

転院・退院調整の方法が整備されたことなどもあり、達成率は105.8%で、目標値を上回りました。

次に、「紹介率」は、67.5%。

各医師会に対して紹介患者の増加となるよう働き掛けを行いつつ、地域の医療機関へ訪問し、情報交換を行ったこともあり、達成率は103.8%で、目標値を達成しております。

次に、「逆紹介率」は、85.7%。

各診療科への働き掛けや院内での情報の共有化を図ったこともあり、達成率は122.4%で、目標値を達成しております。

続きまして、資料54ページ「財務関係指標」につきまして、ご説明いたします。

まず「医業収支比率」ですが、78.5%。

収益面では、入院診療単価の向上や外来患者数の増加により医業収益が増収となった一方、費用面では、職員数の増加などによる給与の増加や医療機器の保守費の増加などにより医業費用が増加となりました。このことから前年度と比べ0.8ポイント下降しましたが、目標値を達成しております。

次に、「経常収支比率」は、先ほどご説明したところですので割愛させていただきます。

<p>登坂委員長</p>	<p>次に、「職員給与費対医業収益比率」は、62.1%。 医業収益が前年度と比べ増収となりましたが、職員数の増加などにより給与費が前年度と比べ増加したことから、前年度と比べ0.9ポイント上昇しましたが、目標値を達成しております</p> <p>次に、「材料費対医業収益比率」は、26.4%。 医業収益が前年度と比べ増収となりましたが、材料費も増加したことから、前年度と比べ1.2ポイント上昇し、目標値に届きませんでした。</p> <p>次に、「他会計繰入金対経常収益比率」は、10.8%。 一般会計からの繰入金は増収となりましたが、経常収益全体が大きく増収となり、目標値を下回っております。</p> <p>次に、「一般病床利用率」は、73.2%。 新型コロナウイルス感染症患者受け入れのための病棟閉鎖の影響もあり、前年度と比較し2.0ポイント下降し、目標値を下回りました。</p> <p>次に、「入院患者一人一日当たり収入」は、8万1,303円。 手術件数の増加及び平均在院日数の短縮により、前年度と比べ5,378円増加し、目標値を達成しました。</p> <p>次に、「一日平均外来患者数」は、1,050.6人。 新型コロナウイルス感染症による受診控えの傾向が落ち着いたこともあり、前年度と比べ126.4人増加し、目標値を達成しました。</p> <p>次に、「外来患者一人一日当たり収入は、1万6,479円。 化学療法の実施件数及び内視鏡治療処置件数の増加などにより前年度と比べ67円増加し、目標値を達成しました。</p> <p>続きまして、資料55ページ「貸借対照表の状況」ですが、こちらは、時間の都合上、大変恐縮ですが、説明を割愛させていただきます。</p> <p>Ⅱ 収支計画・腫瘍経営指標の達成状況の説明につきましては、以上となります。</p> <p>ありがとうございました。</p>
--------------	--

<p>尾形委員</p>	<p>令和3年度の収支計画と主要経営指標の達成状況について説明がございました。</p> <p>それでは、委員の皆様、ご質問等がありますでしょうか。</p> <p>52ページですが、経常損益については33億の赤字のところ13億の黒字ということで大幅に改善したわけですが、最大の要因は国県補助金で3,300万円とみこんでいたところ41億9,900万円となったことです。</p> <p>やはりこれとは別にコロナ補助金を除いた医業損益ベースの収支を押さえておく必要があるのかなと思う。やはりノーマルに戻った際にどういふ姿になるのかという観点が重要ではないかと思う。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>令和3年度は目標から実績が約46億円ほど収支改善しましたが、先ほど尾形委員からお話にあった補助金が41億5千万円ありまして、それを差し引くと4.5億円目標より収支改善している状況があります。こちらは当院の様々な自助努力で改善しているところもありますので、こういった補助金に頼らなくても収支状況を改善させるという努力はコロナ後も引き続きやっていきたいと考えております。</p>
<p>青地委員</p>	<p>材料のところですが、対医業収益比率というところで医業収益が増えたことに伴い材料費も増えたという説明でしたが、53ページを確認しますと、手術件数が目標に届いていない等というなかの実績値とすると、意外と増えている感じがしました。</p> <p>これについて、単価が上がった等、材料費が上がった要因は何かあるのでしょうか。</p>
<p>富田病院財務課長</p>	<p>まさしく青地委員のおっしゃったところが我々としても気になっているところですが、材料費が上がる中でも特に増えているのが薬品費となります。こちらは外来化学療法等が件数が大きく増えていることが要因であり、こちらの表で外来収入が目標よりも大きく増えているというところに関連して、材料費も同様に増えてしまったということが大きな要因と考えます。</p>
<p>登坂委員長</p>	<p>マスク等の単価や消耗品費の単価が上がっている等の要因はありますか。</p>

富田病院財務課長	<p>確かにマスクの単価はコロナ前と比べ倍どころではないほど単価が上がっているところですが、影響としては令和3年度よりも令和4年度の方が大きくなっています。</p> <p>皆様の日々の生活でもそうですが、我々の場合、年度当初に単価契約で各業者さんと契約を結びますが、9月ごろからメーカーさんから値上げを求められてしまったため、卸の業者さんも単価契約の価格維持が出来ないということで、価格の変更の申し出がかなり来ています。</p> <p>このことから、診療材料については令和3年度よりも令和4年度の方が価格高騰の影響が出るものと考えています。</p>
登坂委員長	<p>令和4年度になると、光熱水費等の影響も出てくると思いますが、そのあたりはどうでしょうか。</p>
富田病院財務課長	<p>光熱水費は単月あたりで1000万円から1500万円ほど前年度よりも上がっております。1年にすれば1億円以上経費を負担しなければいけないことになりまして、これについては収入で補填するものが無いのでこの病院も苦勞しているところだと聞いているところです。当院でも院内の節電等呼びかけていますが、使用量は下がっても価格そのものが上がってしまっているのです、病院の自助努力ではどうにもならないところかなと考えているところです。</p>
石原委員	<p>外来化学療法室が20床ということですが、この病院規模で足りているのか。</p>
院長	<p>現状は、20床でまだ少し余裕があります。</p> <p>今、乳腺の化学療法が少ないので、そこが増えてくるといっぱいになると考えます。</p>
登坂委員長	<p>緩和ケア病棟について現在閉じられているが状況はどうか。</p>
院長	<p>緩和ケア病棟に関しましては、大変残念ですがコロナの患者さんを受け入れるために閉鎖したところです。それをなるべく早く再開したいと考えていますがまだ難しい現状です。</p> <p>来年度からは一般病棟の中に間借りをしながら、緩和ケア病棟も行っていきたいと考えています。</p>

登坂委員長	大熊委員、何かご意見はありますか。
大熊委員	特にありません。
登坂委員長	<p>一番最初に尾形委員が言われているように、これでコロナ補助金が無くなった際に経営をどうやって戻すかというところが最大の問題になってくると思う。</p> <p>そのあたりについても各委員からの意見もありましたので、本日いただいた様々なご意見について、評価案を取りまとめたと思います。</p>
登坂委員長	<p>続きまして、「Ⅲ 全体評価」について事務局から説明をお願いします。</p>
富田病院財務課長	<p>それでは、資料56ページ、全体評価について、ご説明いたします。</p> <p>まず、全体評価の上段「評価結果及び判断理由」ですが、現在は空欄としております。今回の委員会にて頂きました委員の皆さまからのご意見を事務局にてまとめさせていただきます。そして、後日となりますが、事務局にてまとめた内容を書面にて委員の皆さまにご確認いただき、修正や追加意見をいただいたものを含めて、令和3年度の評価としたいと考えております。</p> <p>また、下段ですが、前回の委員会にて委員の皆様から頂きました全体に対するご意見を要約して記載しております。</p> <p>先ほどの「Ⅱ 収支計画・主要経営指標の達成状況」に関して頂いたご意見などは、事務局にてこちらに追加をさせていただきます。その追記した内容と併せて、先ほどと同様に後日、書面で確認をして頂きたいと考えております。</p> <p>全体評価についての説明は以上となります。</p>
登坂委員長	<p>事務局から前回の委員会にて頂戴しました全体的なご意見について説明いただきました。</p> <p>最後に、本日、報告がありました「Ⅱ 収支計画・主要経営指標の達成状況」を併せた、全体評価といたしまして、委員の皆様から一言ずつ</p>

<p>尾形委員</p> <p>青地委員</p> <p>大熊委員</p> <p>大塚委員</p> <p>石原委員</p> <p>登坂委員長</p>	<p>ご意見を伺いたいと思います。</p> <p>私からは先ほど申し上げましたので、特にございません。</p> <p>私からも特にございません。</p> <p>特にございません。</p> <p>特にございません。</p> <p>全体として非常によく頑張っていると思う。 令和3年度は新病院になって落ち着いていないところがまだ含まれる。 全体の評価を数字だけで見るとなかなか難しいところがあるかと思いますが、令和3年度の中でもトレンドといいますか上昇基調にあるとか、そういうところを評価の中に含めていただければいいのかなと思う。 おそらく令和4年度にむかっていろいろな数字が上がっていくと思うので、その過程も含めて全体評価としたら良いのではないかなと思う。</p> <p>大変貴重なご意見もいただきました。 令和3年度はコロナ禍の全盛期でもあり、いろいろなことが困難な中でやらなければいけないことも多々あったと思う。 今後は、補助金が無くなった後どのように経営を戻していくのか検討しなければならぬと思います。 本日いただいた様々なご意見について、評価案を取りまとめたいと思います。</p>
<p>3. その他 登坂委員長</p> <p>富田病院財務課長</p>	<p>それでは、事務局よりお願いいたします。</p> <p>本日は、長時間に渡りご議論いただき、誠にありがとうございました。 本日、ご評価いただいた内容やご意見等をとりまとめたくうえで、事務局より書面にてご送付させていただき、改めて皆様にご確認いただいた上で、本委員会としての評価を確定したいと考えております。 よろしいでしょうか</p>

委員一同	異議なし
富田病院財務課長	<p>ありがとうございます。そのようにさせていただきたいと思います。</p> <p>評価が固まりましたら、登坂委員長におかれましては、例年やっておりますが、清水市長に市立病院の評価結果ということでご報告いただきたいと思いますと考えております。その報告が終わりましたら、また委員の皆様の結果をフィードバックさせていただきたいと考えています。</p> <p>本年度の会議については、本日で終わりとさせていただきまして、また来年度会議を開催させていただきます。</p> <p>来年度は、新たに今年から始まっている第三次中期経営計画について皆様に外部評価していただくこととなります。</p> <p>また三次計画はいろいろ変わった点もございますので、そのあたりについて丁寧に説明させていただきながら、いろいろとご意見をいただければと思います。</p> <p>事務局からは以上となります。</p>
登坂委員長	<p>本日の議事は、以上をもちまして、すべて終了いたしました。</p> <p>委員の皆様方のご協力、誠にありがとうございました。</p> <p>本日は、これにて散会いたします。</p>